

ふるさとで学ぶ



ちかうじ
松平親氏の銅像

愛知県の各地で活動されている「あいち観光ボランティアガイド」のみなさん。活動を通して、地域の活性化に貢献することや、人と出会い、交流を広めていくことが、自身の生きがいにもつながっています。今回は豊田市と常滑市に出かけ、地域で活躍するボランティアガイドさんにお話を伺いました。

まつだいらごう

松平郷ふるさとづくり委員会

～松平家の歴史を語り継ぐ～

徳川家のルーツである松平家発祥の地

豊田市街地から東へ10kmほど離れた山村に位置する松平郷は、徳川家のルーツである松平家発祥の地です。一帯は「松平氏遺跡」として、国の史跡に指定されています。家康を祀った松平東照宮、松平家の菩提寺である高月院、木造松平親氏坐像等の松平家や徳川家ゆかりの品々が展示されている松平郷館など、見どころは豊富です。

「豊かな自然に包まれている松平郷は、松平家に関わる史跡がたくさんあります。この松平郷へ多くの人に来ていただいて、松平家の歴史について知ってほしいです」と、事務長の大橋猛さんが話してくださいました。

もう一度来てほしいと願って

松平郷ふるさとづくり委員会は、豊田市が進めてきた松平郷園地が完成した平成5年に、清掃・管理の委託先として発足しました。当初ガイドは地元の歴史に詳しい4名で行っていましたが、その後、平成22年度に豊田市観光協会によるガイドボランティア育成講座があり、講座を受講した15名がガイドとして活動しています。全員が定年を過ぎた人で、ガイドを生きがいとしてみえるそうです。

「この地を訪れる方は、信長・秀吉・家康の3英傑を勉強して、安城や岡崎を観光された後、家康の先祖の地ということで寄られます。私たちが、松平家ゆかりの場所を案内して説明することで、松平家の歴史に興味を持ち、もう一度来てみようという思いを持ってほしいと願ってガイドをしています」と強調されました。

ふるさと松平郷に誇りを持って

ガイドとして心がけていることは、「来ていただいた人が、来てよかったと思えるような取って置きの話をする事です」と大橋さん。江戸時代、松平家は442石しかなかったけれど、本家なので江戸へ行く行列は1万石以上の大名扱いであったこと、また、江戸城での席は3千石以上の旗本より上位であったこと等を話してくださいました。「何せ442石なので、家来もそんなにいなかったと思います。大名行列で江戸まで行くとなると、家来以外の者がお供をしたのかもしれない。ひょっとすると、私の先祖も殿様のお供をして江戸へ行ったのではないかと、そう想像すると、ここに住んでいることを誇りに思えます」と真顔で話されました。松平郷に愛着を持ち、ふるさと松平郷を誇りに思われている様子が伝わってきました。

松平郷ふるさとづくり委員会は、観光ガイドの他に、1月に七草粥を味わう会、5月に天下茶会、7月に流しそうめん大会、11月に写生大会、12月に年末餅つき大会等の行事を行っています。「いろいろな行事を通してたくさんの人に来ていただいて松平郷を知ってもらいたいし、ふるさとづくりの思いが次世代へとつながってほしいです」と、夢を語ってくださいました。



松平東照宮



松平郷でのガイド



奥宮でのガイド



七草粥を味わう会



斉年寺の鐘楼

大野コミュニティ 歴史散策ガイド

～大野の歴史を伝承したい～

知多半島の中心として栄えた大野

常滑市北西部の大野町は、かつて廻船問屋(かいせんどんや)による海運業をはじめ、大野鍛冶(かじ)といわれる鍛冶や味噌、酒造等の各種産業が発達し、知多半島の経済・文化の中心として栄えた歴史ある町です。また、世界最古の海水浴場とされる大野海水浴場もあり、戦後から高度経済成長期にかけては多くの海水浴客でにぎわいました。

大野町の歴史を伝える歴史散策ガイドの事務所は、築100年の町家造りの古民家を利用した「大野町きょう屋」にあります。そこで、大野コミュニティ会長の後藤信之さん、元会長の井上恭子さん、歴史散策ガイド案内人の高須孝さんの3人からお話を聞きました。

散策ガイドは生きがい

歴史散策ガイドは、大野の町の活性化のために設立された大野コミュニティの事業の一つとして、平成10年に始まりました。当初の案内人は4名でした。その後、大野コミュニティ主催の散策ガイド養成講座を行い、案内人は増えたそうです。

斉年寺の寺宝には、大野城主が寄進した雪舟の国宝達磨慧可断臂図(だるまえかだんぴず：京都国立博物館へ寄託)があります。内宮御祭宮社(ないぐうごさいぐうしゃ)は、元伊勢宮と称して多くの参詣を受けました。「大野の町は決して広くないけれど、こうした神社仏閣は、16もあります」と会長の後藤さん。ガイドを依頼される目的に従って、神社仏閣を巡るコース、大野城をはじめとする史跡を巡るコース、買い物中心に巡るコースの3つの中から選んで案内をされているそうです。「知っていることを話すので早口にならないように、依頼者の顔を見てゆっくり話すように心がけています。来ていただいた方に大野の歴史を知ってもらうのはうれしいし、生きがいになっています」と、案内人の高須さんがガイドの際に気を付けていることや、やりがいについて話してくださいました。

みんなに好評の歴史散策ツアー

「常滑市は以前、とこなめ国際やきものホームスティ(IWCAT)を行っていた関係で、今でも外国の方が多く見えます」と元会長の井上さん。外国の方に格子のある古い街並みをガイドして回ると、とても喜んでもらえるそうです。

大野コミュニティでは、歴史ある大野の町を多くの人に知ってもらうように、毎年10月に「尾張大野古今散策」という行事を行っています。その中で企画されている歴史散策ツアーでは、案内人と一緒に由緒ある寺院等を回ります。大野町に住んでいる人でも歴史のことは知らないことが多く、歴史散策ツアーは好評だそうです。また、町外から参加される方には、大野の歴史に興味をもていただく機会になっているそうです。

みなさんもぜひ一度、「尾張大野古今散策」の歴史散策ツアーに参加して、古い街並みや由緒ある寺院を回ってみませんか。



内宮御祭宮社



小倉神社でのガイド



海音寺でのガイド



尾張大野古今散策

愛知県観光ボランティアガイドのホームページ

⇒<http://www.aichi-kanko.jp/volunteer/index.asp>

松平郷ふるさとづくり委員会 0565-58-1629

大野コミュニティ 歴史散策ガイド 0569-42-1307 大野町きょう屋内(月・火曜休)

問合せ先

あなたの旅をサポートします